



TITLE:

当所の活動

AUTHOR(S):

CITATION:

当所の活動. 木材研究・資料 1980, 15: 171-174

ISSUE DATE:

1980-12-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/51595>

RIGHT:

当 所 の 活 動

(1979年9月～1980年8月)

講 演

第30回 日本木材学会大会

(昭和55年4月1日～3日, 京都)

吉村慶子・林 昭三・伊東隆夫・島地 謙：形成層
位置推定のための刺針マークの検討
黒田宏之・島地 謙：分化中のニセアカシア木部に
およぼすエチレンの影響

(木材生物部門)

高橋信義・東 順一・越島哲夫：ヘミセルロース,
リグニン結合体に関する研究 その3, プナ
MWL 画分よりのヘミセルロース・リグニン
結合体の性質

向吉俊一郎・東 順一・越島哲夫：あて材中のヘミ
セルロースに関する研究 その1. アカマツ庄
縮あて材の冷水抽出多糖成分について

河毛真智子・東 順一・田中文男・越島哲夫：あて
材中のヘミセルロースに関する研究 その2.
ブナ引張あて材のヘミセルロースについて

東 順一・中村忠可・越島哲夫：ココヤシ中果皮の
化学成分に関する研究 その2. ジメチルスル
ホキシドによって抽出されるヘミセルロースに
ついて

前川英一・上野幾夫・越島哲夫：金属イオンを捕集
したジカルボキシセルロースの性質

村木永之介・田中龍太郎・夜久富美子・越島哲夫・
微粉細木粉の酵素分解(2)最適条件の検討

田中龍太郎・夜久富美子・越島哲夫：アセチルグル
コマンナンの酵素分解(Ⅲ)オリゴ糖の分別条件
の検討

稲葉和功・飯塚義富・越島哲夫：亜硫酸成分による
担子菌糸の生育促進

(木材化学部門)

久津木英俊・島田幹夫・中坪文明・樋口隆昌：グア
イアシルリグニン形成に特異的な, ケイヒアル
コールデヒドロゲナーゼについて

片山健至・中坪文明・樋口隆昌：*Fusarium solani* に
よる グアイアシルグリセロール— β —バニリン

酸エーテルの分解

中坪文明・島田幹夫・樋口隆昌・T. Kent Kirk：

Phanerochaete chrysosporium によるデヒドロジコ
ニフェリルアルコールの分解機構に関する研究

島田幹夫・中坪文明・樋口隆昌・T. Kent Kirk：

Phanerochaete chrysosporium によるリグニン末端
アリル側鎖の分解機構に関する研究

(リグニン化学部門)

松原 修・則元 京・林 昭三・山田 正：広葉樹
材の誘電特性 Ⅱ. 環孔材

長谷川賢司・則元 京・山田 正：マイクロ波によ
る木材の塑性曲げ加工(Ⅰ), マイクロ波照射に
よる乾燥過程での木材の変形についての研究

和田 博・則元 京：マイクロ波による木材の塑性
曲げ加工(Ⅱ)

牧 福美・則元 京・山田 正：木質材料の湿度調
節機能Ⅴ

青木 務・平林 靖・棚橋光彦・山田 正：木材お
よび構成成分の熱軟化Ⅱ. セルロース, リグニ
ン混合体に及ぼす超音波の効果

平林 靖・則元 京・山田 正・師岡淳郎・白石信
夫・横田徳郎：セルロース誘導体の物性Ⅲ, セ
ルロース溶剤を媒体としたセルロースのエステ
ル化反応と生物の物性

則元 京・師岡淳郎・平林 靖・田中文男・白石信
夫・田中三千彦：セルロース誘導体の物性Ⅳ,
セルロースエステルとナイロンおよびポリエス
テルとのブレンド

野村隆哉・山田 正：木材セルロース微細構造の周
期性と測定光学条件

角谷和男・島地 謙・伊東隆夫・黒田宏之：植栽密
度と針葉樹材の物性に関する一考察

(木材物理部門)

増田 稔・滝野真二郎・冬木敏夫・佐々木光：木質
床パネルの衝撃特性に関する研究—物体や人間
の落下, 跳びはね等に伴う衝撃力について

冬木敏夫・増田 稔・滝野真二郎・佐々木光：木質
床パネルの繰返し曲げ性能(Ⅱ)

林 知行・佐々木光：メタルプレートコネクタを用いた継手の疲労試験（第3報）

作野友康・佐々木光：木材の横引張試験における接着層の寄与

石原茂久・南 正院・佐々木光：亜硫酸パルプ廃液を接着剤とするパーティクルボードの性質
（木質材料部門）

角田邦夫・西本孝一：木材防腐剤トリプロモフェノールの木材および合板への適用性

北田正司・遠藤 醇・西本孝一：低毒性防腐剤，2-メルカプトベンゾチアゾール処理木材の野外杭試験

岩田隆太郎・西本孝一：ヒラタキクイムシのマスカルチャーおよび栄養生理に関する研究

岩田隆太郎・西本孝一：ヒラタキクイムシの表面構造の走査電子顕微鏡による観察
（木材防腐防虫実験施設）

第35回 木研公開講演会

（昭和55年5月13日，大阪）

野村隆哉：竹の生長について（木材物理部門）

林 昭三：木材の組織と材質—生物害と材料としての性質—（木材生物部門）

山田 正：木質資源の機能（木材物理部門）

第25回 熱帯林業セミナー

（昭和54年10月1日，大阪）

“南洋材の見分け方”

島地 謙：南洋材の組織の機能と形態—南洋材識別上の理解を助けるために—（木材生物部門）

昭和54年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修（遺物保存科学課程）特別講義

（昭和54年10月24日，奈良）

島地 謙：木材組織の観察（木材生物部門）

第10回 国際炭水化合物シンポジウム（シドニー，オーストラリア）（昭和55年7月6日～11日）

J. Azuma, T. Nomura and T. Koshijima: Isolation and Characterization of Lignin-Carbohydrate Compound from Bamboo (*Phyllostachys edulis* A.&C. Riviere)

T. Koshijima, and J. Azuma: Characterization of Lignin-Carbohydrate Compound by Substituted Agarose Gels

（木材化学部門）

日本植物学会第44回大会

（昭和54年10月2日～4日，広島）

シンポジウム（細胞壁とかたち）

伊東隆夫：数種の植物細胞における細胞生長と細胞壁の構築（木材生物部門）

第24回 リグニン化学討論会

（昭和54年11月1日～2日，京都）

釜谷保志・中坪文明・樋口隆昌： β -O-4 およびシリンガレジノール構造からなる三量体リグニンモデル化合物

難波宏彰・中坪文明・樋口隆昌： β -O-4 および β -1 構造からなる三量体リグニンモデル化合物の合成

中坪文明・樋口隆昌：フェニルクマランおよび β -1 構造からなる三量体リグニンモデル化合物の合成並びにリグニンモデル化合物の合成に関するまとめ

棚橋光彦・樋口隆昌：透析膜法による LCC の合成と植物細胞壁のモデル化

岩原章二郎・城森孝二・一色健二・樋口隆昌：Fusarium spp. によるリグニン関連芳香族化合物の側鎖の分解について

T. K. Kirk：特別講演，Speculative pathways for the fungal metabolism of lignin substructures

（リグニン化学部門）

第2回 国際生物転換・生化学工学シンポジウム

（1980，3月3～6日，ニューデリー，インド）

樋口隆昌・島田幹夫・中坪文明・T. K. Kirk：リグニン生分解研究の最近の進歩

（リグニン化学部門）

ヨーロッパ化学会リグニンシンポジウム

（1980，6月9～10日，ヘルシンキ，フィンランド）

樋口隆昌・中坪文明：オリゴリグノールの合成と生分解（リグニン化学部門）

四国紙パルプ研究協議会

（昭和55年6月26日，高松）

樋口隆昌：オリゴリグノールの合成およびその微生物分解（リグニン化学部門）

生物化学工学若手研究会

(昭和55年, 8月21~23日, 関西セミナーハウス)

樋口隆昌: リグニン生合成および生分解の化学
(リグニン化学部門)

日本木材加工技術協会関西支部講演会

(昭和55年6月6日, 大阪)

則元 京: マイクロ波による木材の曲げ加工
(木材物理部門)

住居気候談話会

(昭和55年6月21日, 京都)

牧 福美・則元 京・山田 正: 内装材料と湿度調節
(木材物理部門)

高分子の崩壊と安定化研究討論会

(昭和54年11月4日, 大阪)

石原茂久: 放射線による木材・ポリマー複合体
(木質材料部門)

木質材料と住宅工法講習会

(昭和54年11月6~7日, 大阪)

佐々木光: 木質材料の動向 (木質材料部門)

昭和54年度技術指導施設費補助事業に関する研究成果普及講習会

(昭和54年11月21~22日, 鳥取)

佐々木光: 小径木の有効利用について
(木質材料部門)

大阪広葉樹協会製品部会講演会

(昭和54年9月12日, 大阪)

高橋旨象: ヒラタキクイムシの生態と防止法
(木材防腐防虫実験施設)

日本木材保存協会, 木材保存処理技術に関する研修会

(第1回 昭和55年3月15日, 東京)

(第2回 昭和55年7月8日, 京都)

高橋旨象: 塗布・吹付け・浸漬用木材防腐剤の防腐効力, 鉄腐食性, 吸湿性試験方法と性能基準
(木材防腐防虫実験施設)

全国木材防虫JAS協議会講演会

(昭和55年3月7日, 大阪)

西本孝一: ヒラタキクイムシの生理・生態と被害
(木材防腐防虫実験施設)

日本防菌防黴学会第7回年次大会

(昭和55年5月20日~21日, 大阪)

高橋旨象・花岡千草・西本孝一: 木材の酵素的分解
に対する水蒸気加熱膨化処理の影響

(木材防腐防虫実験施設)

日本防菌防黴学会, 木材保存薬剤講演会

(昭和55年7月18日, 大阪)

高橋旨象: 各国の木材保存薬剤の効力評価試験方法
西本孝一: 木材保存薬剤の木材工業への応用
(木材防腐防虫実験施設)

人事往来・その他

伊東隆夫: 昭和54年10月1日付で助教授に昇任
(木材生物部門)

高橋旨象: 昭和54年10月1日付で助教授に昇任
(木材防腐防虫実験施設)

増田 稔: 昭和55年3月1日付で助教授として三重
大学に出向 (木質材料部門)

川井秀一: 昭和55年4月1日付で助手に任官
(木質材料部門)

島地 謙: 日本学術振興会よりの派遣によりインド
ネシア国における未利用樹種の利用開発に関す
る研究視察のためインドネシア国へ出張 (昭和
54年12月3日~14日) (木材生物部門)

中津川努 (ニューヨーク州立大学環境科学および林
学部 教授) 昭和55年8月8日来所, 所内見学
(木材化学部門)

S. S. Block (フロリダ大学 化学工学科教授): 昭
和55年9月3日来所, セルロース質の糖化なら
びに食用きのこ栽培について討議, 所内見学
(木材化学部門)

越島哲夫: 第10回炭水化物化学国際シンポジウムに
出席のためオーストラリアへ出張
(昭和55年7月5日~7月19日)
(木材化学部門)

越島哲夫: 日本学術振興会よりの派遣によりインド
ネシア国における未利用樹種の利用開発に関す
る研究視察のためインドネシア国へ出張
(昭和54年12月3日~14日)
(木材化学部門)

佐々木光: NATO 科学委員会「セルロース系およ
び木質系複合材料の接着に関する会議」のため
カナダ国キングストン市へ出張。引続き「木構

造と接合の耐久性に関する調査」のためカナダ
国および米国の関連機関を訪問。

(昭和55年5月8日～25日)

(木質材料部門)

中華人民共和国西北大学学術視察団団長 郭 琦

氏(西北大学校長)以下7名見学のため来所

お 知 ら せ

本誌はこれまで研究資料を中心に編集されてきましたが、今回より研究論文等を併せ収録することに致しました。

これに伴い、本号から従来の誌名

「木材研究資料」(WOOD RESEARCH REVIEW)を

「木材研究・資料」(WOOD RESEARCH AND TECHNICAL NOTES)

に変更させて頂きましたので周知方よろしくお願い致します。